



T.RAD INTERIM BUSINESS REPORT

第121期 中間報告書

2022.4.1-2022.9.30

To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役 CEO 兼 COO
社長執行役員

宮崎 富夫

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さてこの度、第121期上半期（2022年4月1日～2022年9月30日）が終了いたしましたので、事業の概要につきましてご報告申し上げます。

当上半期の経済環境は、ウクライナ侵攻長期化、上海ロックダウンに伴う中国需要の悪化、半導体不足、原材料の高騰等により、引き続き厳しいものとなりました。当社グループにつきましても、上半期の売上高は、中国地域を除き前年同期比で増加したものの、営業利益は、材料・部品の高騰等により、日本地域を除き前年同期比減益となりました。

下半期につきましては、半導体不足等による上半期の取引先減産の挽回増産が見込まれており、収益性の高いアジア・中国子会社を中心に、利益回復が期待されます。

当期の中間配当につきましては、2022年5月に公表いたしました年初計画の通り、1株80円とし、株主の皆様の日頃のご支援にお応えしたいと存じます。

当社の配当方針につきましては、新中期経営計画（2022年度～2025年度）において、配当性向（連結）30%以上、総還元性向90%以上を目標としております。新中期経営計画の概要につきましては、当社ウェブサイト IR資料室にて公開しております。

当社は株主の皆様に対する利益還元を最重要政策として位置付けており、企業体質の改善と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様に対し業績に裏付けられた適正な成果の配分を行ってまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年11月

Performance by Operating Segment

セグメント別の概況



中国

自動車用及び建設産業機械用売上高は、上海ロックダウン及び、半導体不足の影響等により、前年同期比減少しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比1,614百万円減少し、10,713百万円となりました。外貨ベースでは、27.6%の減少となりました。

営業利益は、売上減少及び材料・部品費の高騰等により、前年同期比993百万円減少し、870百万円となりました。外貨ベースでは、60.8%の減益となりました。

アジア

自動車用売上高は、ベトナムにおいて半導体不足の影響等により減少しましたが、タイにおいて新規受注機種の新規受注機種及び、インドネシアにおける受注回復等により、前年同期比増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比1,583百万円増加し、9,080百万円となりました。外貨ベースでは、5.3%の増加となりました。

営業利益は、材料・部品費の高騰等により、前年同期比43百万円減少し、1,238百万円となりました。外貨ベースでは、16.6%の減益となりました。

日本

自動車用売上高は、半導体不足の影響等がありましたが需要は底堅く、建設産業機械用売上高は、概ね好調に推移し、共に前年同期比増加となりました。この結果、当該セグメントの売上高は、3,170百万円増加し、31,705百万円となりました。

営業利益は、材料・部品費、及び電力費の高騰等により減少しましたが、売上増加等により、前年同期比403百万円増加し、542百万円となりました。

米国

自動車用売上高は、新規受注機種の新規受注等により、前年同期比増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比4,702百万円増加し、19,453百万円となりました。外貨ベースでは、6.7%の増加となりました。

営業利益は、材料・部品費の高騰、及び人件費・物流費の増加等により、前年同期比1,612百万円減少し、△1,625百万円となりました。

欧州

自動車用売上高は、チェコにおいて大型トラックの受注増加等により、前年同期比増加しました。当該セグメントの売上高は、前年同期比612百万円増加し、2,964百万円となりました。外貨ベースでは、1.8%の増加となりました。

営業利益は、材料・部品費の高騰等により、前年同期比257百万円減少し、△229百万円となりました。

Financial highlights

財務ハイライト

■連結売上高



■連結営業利益又は連結営業損失(△)



■連結経常利益又は連結経常損失(△)



■連結親会社株主に帰属する四半期純利益又は連結親会社株主に帰属する四半期純損失(△)



■連結総資産



■連結純資産



Financial statements (Consolidated)

財務諸表（連結）

四半期連結貸借対照表（要旨）

科目	（単位：百万円）		
	前中期連結会計期間末 （2021年9月30日）	当中期連結会計期間末 （2022年4月30日）	前連結会計年度末 （2021年3月31日）
資産の部			
流動資産	57,077	62,249	57,835
固定資産	24,126	40,097	35,921
有形固定資産	29,207	33,277	30,200
無形固定資産	1,405	1,916	1,613
投資その他の資産	3,513	4,813	4,166
資産合計	91,203	102,257	93,756
負債の部			
流動負債	24,571	39,850	37,377
固定負債	10,745	11,943	9,646
負債合計	45,317	51,694	47,024
純資産の部			
株主資本	42,526	41,998	42,505
資本金	8,570	8,570	8,570
資本剰余金	7,534	7,253	7,352
利益剰余金	29,330	29,526	27,064
自己株式	△ 2,909	△ 451	△ 423
その他の包括利益累計額	953	6,175	3,996
その他有価証券評価差額金	—	10	—
為替換算調整勘定	40	5,127	948
繰越剰余に係る調整累計額	913	1,037	1,049
非支配権者持分	2,405	2,389	2,228
純資産合計	45,886	50,562	46,732
負債・純資産合計	91,203	102,257	93,756

連結貸借対照表について

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金、棚卸資産及び固定資産の増加等により、前連結会計年度末比8,500百万円増加し、102,257百万円となりました。

負債は、買掛金及び借入金の増加等により、4,670百万円増加し、51,694百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、3,830百万円増加し、50,562百万円となりました。

四半期連結損益計算書（要旨）

科目	（単位：百万円）	
	当中期連結会計期間 （2022年4月1日 ～2022年4月30日）	前中期連結会計期間 （2021年4月1日 ～2021年4月30日）
売上高	65,574	74,015
売上原価	57,181	67,936
売上粗利益	8,392	6,079
販売費及び一般管理費	4,975	5,257
営業利益	3,417	822
営業外収益	205	1,239
営業外費用	139	132
経常利益	3,483	1,929
特別利益	16	14
特別損失	46	448
税金等調整前当期純利益	3,453	1,495
法人税、住民税及び事業税	1,033	1,210
法人税等調整額	372	76
四半期純利益	2,046	208
非支配権者に帰属する四半期純利益又は非支配権者に帰属する四半期純損失（△）	181	△ 97
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,864	306

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

科目	（単位：百万円）	
	当中期連結会計期間 （2022年4月1日 ～2022年4月30日）	前中期連結会計期間 （2021年4月1日 ～2021年4月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,125	4,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,074	△ 3,759
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 999	△ 688
現金及び現金同等物に係る増減額	422	1,211
現金及び現金同等物の増減額	1,473	1,038
現金及び現金同等物の報告期末	14,614	13,404
連結以外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△ 180
現金及び現金同等物の報告期末	14,614	14,262

連結キャッシュ・フロー計算書について

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の減少、法人税等の支払額の増加等により前年同期比851百万円減少し、4,274百万円のキャッシュインとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資の増加等により前年同期比684百万円増加し、3,759百万円のキャッシュアウトとなりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリー・キャッシュ・フローは、前年同期比1,535百万円減少し、514百万円のキャッシュインとなりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得減少等により、前年同期比311百万円増加し、688百万円のキャッシュアウトとなりました。

Corporate Data (2022.9.30)

会社概要

社名	株式会社 ティラド (T.RAD CO.,LTD.)
本社	〒151-0053 東京都渋谷区代々木三丁目25番3号 (あいちいこっせいの前和製パン館ビル)
設立	1936年11月11日
資本金	85億7,043万円
代表者名	宮崎 富夫
従業員数	1,355名
事業所	本社(東京) 製作所(神奈川県、愛知、福岡) 技術本部(神奈川県、愛知、福岡) 営業本部(東京、栃木、神奈川県、愛知、大阪)
海外関連会社	アメリカ、チエコ、中国、タイ、インドネシア、 ベトナム、ドイツ、インド

取締役・監査役

代表取締役CEO兼COO	宮崎 富夫
社長 執行役員	
取締役 専務執行役員	眞浦 芳孝
取締役 常務執行役員	金井 典夫
取締役 経理役員	藤納 裕利
社 外 取 締 役	高橋 貞定
社 外 取 締 役	村岡 理一
監 査 監 査 役	中野 孝幸
社 外 監 査 役	大庭 康幸
社 外 監 査 役	藤原 二紀夫

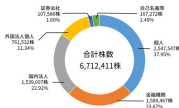
株式の状況

(A) 発行済株式総数	13,000,000株
(B) 発行済株式の総数	8,543,139株
(注)発行済株式(47,212株を除く)	
(C) 株主数	4,000名
(D) 大株主 (上位10位)	

株主名	(千株)	持株比率
株式会社西濃コネクト	1,000	11.2%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	683	10.5%
ティラド執行役員株主	381	3.4%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ信託口 資産託受取者 株式会社日本カストディ銀行	324	4.9%
表面 和武	201	3.0%
明治生命保険株式会社	182	2.9%
山崎金業産業株式会社	178	2.7%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	167	2.5%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	110	1.6%
ティラド発行役員株主	107	1.6%

(注) 1. 当社は、自己株式を261,272株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を除外して計算しております。

●所有者別株式分布状況



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話：0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店にて行っております。

公告方法

電子公告により行う。
(ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座が無い場合、特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主に関する住所変更等のお手続きについてのご案内

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご連絡ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、下記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認頂けます。

よくあるご質問(FAQ)

https://faq-agency.smbf.jp/?site_domain=personal

株式会社ティラド

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-25-3
TEL : 03-3373-1101 (代)
URL : <https://www.trad.co.jp/>